



R5 年度終了 保護者皆様のご理解とご協力に感謝

ありがとうございました

「命と健康を守る」を最優先に園運営を行ってまいりましたが、無事に終了したわけではありません。コロナが5類に移行したとはいえ、まだ終息してはいません。インフルエンザによる閉鎖もありました。園での発熱、ケガ等でお迎えをお願いするケースが多々ありました。お仕事を休んだり、急なお迎えにも対応していただきました。心より感謝申し上げます。

卒園式後、今は4歳児が、これからは「俺たちの時代だ！」と言わんばかりに大きな顔をしています。それもまた成長の表れです。4月からスタートする新年度への期待が膨らみます。

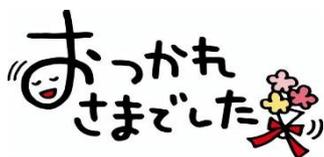
◆職員の退職と異動のお知らせ◆ 3月別れの季節 人の出会いと別れは天の定め

‘雪解け間近の北の空に向かい… ああ～日本のどこかに私を待っている人がいる。’

別れの曲と言えば私の年代では、山口百恵さんの「いい日旅立ち」なのですが、「園長先生、もう古いです。Z世代は知りません。」と言われました。ところが今、昭和歌謡のメロディーや歌詞の美しさが見直されています。



～ 退職 ～



◇高橋 秀巳先生 この度、大人の事情で退職されます。39年間、訓子府の子どもたちを見守ってきました。「天職」という言葉があります。自分の生まれつきの性質に合った職業という意味です。秀巳先生の子どもたちへの関わりを見ていると全くその通りで納得します。お疲れ様でした。

◇上野しずく先生 本園には、4年間会計年度職員として勤務されました。この度、素敵な方と出会い、彼の下（北見）に行かれることになりました。「愛は強し」です。引き留めることはできませんでした。

◇石井 舞先生も同じく4年間、支援員として勤務されました。イラストが得意で、「にこ、きら、わく」のキャラクターをデザインしてくれました。「寺町先生が高知に行くなら、私も外の世界を見たい、若いうちにチャレンジしたい。」と言いました。その気持ちを大切にしたいと思います。

◇須釜 亨児童センター長（教育専門員） 校長退職後に、私の後任として訓子府町に来られて3年が経ちましたが、この度退職をして札幌で奥様と2人暮らしをするそうです。羨ましいかぎりです。学校運営協議会を軌道に乗せた立役者です。



～ 異動 ～

◇山本 正徳さん（元子ども未来課長） 退職後、会計年度職員として未来課に残っていただき、冬は除雪、夏は中庭の芝生の管理、園舎の冷暖房管理など、こども園だけでなく児童センター、子育て支援センターの縁の下の力持ちとして、子育て3施設を支えていただきました。この度の異動で古巣の消防署訓子府支署に異動になります。



◇横江文子さん（子ども未来課と社会教育課の兼務） これまで未来課と社会教育の兼務でしたが、社会教育課に専念することになりました。子どもたちとは直接的な関わりはありませんでしたが、特に子育て支援センターの行事に関わって大変お世話になりました。私事ですが、横江さんの笑顔が素敵でした。



◇太田亜美さん（給食調理員） これまでわくわく園の給食調理をしていただきましたが、4月から給食センター勤務になり、小学校から高校までの給食を作ります。

寺町先生については、過日、高知県津野町役場との交流人事で2年間派遣することを紹介しました。28日朝8時に訓子府を離れました。交換人事で津野町のこども園から、高橋愛実先生が来ます。転入職員については、次号で紹介します。

【お知らせ】 *4月4日(木) 第9回入園式、始業式、保育開始

*4月1日から3日まで、厨房の清掃作業のためお弁当が必要です。よろしくお願いします。

その他、年度末、年度初めに関することは、各学級からのお便り、コドモン通信でご確認ください。